

栃木県公立学校新規採用教員選考基準

栃木県教育委員会

I 各試験の概要

1 第1次試験

(1) 学力試験

種別	対象者	時間	内容
一般教養	全志願者	50分	①一般教養・教職教養 ②50問(1問2点)・100点満点 ③マークシートによる解答
専門科目	小学校及び特別支援学校(小)の志願者	80分	①共通問題(国・社・数・理)及び選択問題(音・美・保体・家からの1教科選択) ②各教科20点・100点満点
	中・高・特別支援(中・高)・養護教諭志願者	音・美・保体 50分 その他 80分	①校種別、教科・科目等別の問題 ②100点満点(音・美・保体50点満点)
	特別支援教育	40分	①特別支援教育の専門に関する問題 ②100点満点

(2) 実技試験

教科	対象者	内容
音楽	中・高・特別支援(中・高)の音楽志願者	①聴音・ピアノ実技・視唱・弾き歌い ②合計50点満点
美術	中・特別支援(中)の美術志願者	①平面・立体に関する制作 ②合計50点満点
保健体育	中・高・特別支援(中・高)の保健体育志願者	①[必修]陸上・器械運動 [選択1]球技3種目から1種目 [選択2]武道・ダンスから1種目 ②合計50点満点

(3) 集団面接

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ①面接委員…PTA関係者を含む3名 ②面接時間等…1グループ(10人程度)40分程度 ③評価の観点…主として堅実性・対応力・品位 ④総合評価…ABCの3段階評価 |
|---|

2 第2次試験

(1) 実技試験

教科	対象者	内 容
音楽	小・特別支援 (小)の志願者	①電子オルガンを使った弾き歌い ②指定曲…選考要項に記載 ③A B Cの3段階評価
体育	小・特別支援 (小)の志願者	①水泳・マット運動・跳び箱の3種目 ②各種目ごとにA B Cの3段階評価
技術	中・特別支援 (中)の技術志願者	①パソコンに関する実技・木工製品の製作 ②合計100点満点
家庭	中・高・特別支援 (中・高)の家庭志願者	①調理・裁縫 ②合計100点満点
英語	中・高・特別支援 (中・高)の英語志願者	①英語によるインタビュー ②100点満点
電気	高・特別支援 (高)の電気志願者	①回路の作成 ②100点満点
機械	高・特別支援 (高)の機械志願者	①製図 ②100点満点
特別支援教育	特別支援学校志願者	①指導案作成とその内容に関する質疑 ②100点満点

(2) 個人面接

- ①面接委員…民間企業の人事担当者、教員以外の行政職員を含む4名
- ②面接時間等…1人25分程度
- ③評価の観点…主として指導力・堅実性・判断力
- ④総合評価…A B C D Eの5段階評価

(3) 集団討論

- ①面接委員…民間企業の人事担当者、教員以外の行政職員を含む4名
- ②面接時間等…1グループ(10人程度)50分程度
- ③評価の観点…主として協調性・対応力・堅実性
- ④総合評価…A B C D Eの5段階評価

(4) 作文

- ①内容…教師としての資質、能力、意欲について問う
- ②試験時間…50分
- ③字数制限…600字～1000字
- ④評価の観点…課題把握・実践意欲・文章構成
- ⑤総合評価…A B Cの3段階評価

Ⅱ 合格者決定

1 第1次試験合格者の決定

一般教養（教職教養を含む）、専門科目（実技試験を含む）の得点の高い者から順に、集団面接の評価の良好な者について、出願時に提出された書類の記載事項も加味し、採用予定数の1.5倍～2倍程度を合格者として決定する。

2 第2次試験合格者の決定

個人面接・集団討論の評価の高い者から順に、実技試験の結果、作文の評価及び出願時に提出された書類の記載事項等を総合的に勘案し、合格者を決定する。